

# ECセンターのあゆみ 2

(平成10年～平成20年)

平成20年7月1日

社団法人 電子情報技術産業協会  
ECセンター

# JEITA ECセンター (EIAJ EDIセンター) のあゆみ

年度	JEITA ECセンターの活動	ECセンター (EDIセンター) 運営体制 <small>※役職名は在任時</small>	日本の動き	世界の動き
<b>平成 10 年</b> (1998 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「EIAJ-EDI 標準 1997 年版 (赤本) 追補版」 発行 [4 月]</li> <li>● 「標準納品システム導入ガイド」 (緑本) を改訂発行 [4 月]</li> <li>● CII からの委託事業 (国内用として開発された CII 標準を国際で運用するための研究開発) のため、CII 国際化研究 WG を発足</li> <li>● 日々照合のトライアル 売掛金管理業務の効率化を目指し、月単位ではなくデイリーに照合して違算を見出し解決するトライアルを実施。 発注者側 7 社 (ソニー、東芝、NEC、日立、富士通、松下、三菱) 受注者側 4 社 (アルプス、TDK、日立、村田)</li> <li>● EDI セミナー開催 [5 月] 「EIAJ-EDI 標準 1997 年版 追補版」の解説 (外貨決済対応) 東京会場 216 名参加 大阪会場 80 名参加</li> </ul>	平成 10 年度 会 長 北村 守氏 (株)東芝 常務取締役 副会長 村田恒夫氏 (株)村田製作所 専務取締役 副会長 岩崎隆治氏 (社)日本電子機械工業会 常務理事	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆長野冬季オリンピック開催</li> <li>◆金融ビックバン始動</li> <li>◆仏でワールドカップ開催、日本初出場</li> <li>◆参院選挙自民党惨敗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇韓国大統領に金大中</li> <li>◇独首相にシュレイダー</li> <li>◇マイクロソフト、OS「Windows98」発売</li> <li>◇インド、パキスタンが核実験</li> </ul>
<b>平成 11 年</b> (1999 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「EIAJ-EDI 標準 1999 年版」 発行 ・外貨決済対応 ・請求支払EDIを標準化し、5つの標準メッセージを追加 ・見積採否通知情報を追加 ・物流EDIはEIAJサブセットをやめ、日本標準 (JTRN) をそのまま利用 ・通信プロトコルに拡張Z手順 (TCP/IP) を追加 ・標準納品システムの一部変更 (外貨対応) ・EDI取引基本契約書を更新</li> <li>● EDI セミナー開催「EIAJ-EDI 標準 1999 年版」の解説 [10 月] 東京会場 231 名参加 大阪会場 93 名参加</li> </ul>	平成 11 年度 会 長 村田恒夫氏 (株)村田製作所 専務取締役 副会長 上野健夫氏 (株)日立製作所 常務・資材部長 副会長 岩崎隆治氏 (社)日本電子機械工業会 常務理事	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日米ガイドライン関連法案成立</li> <li>◆NTT分割再編</li> <li>◆民間核燃料施設で臨海事故 (東海村)</li> <li>◆都知事に石原慎太郎氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ユーロ始動、欧州 11 カ国に単一通貨導入</li> <li>◇パナマ運河返還</li> <li>◇中国がWTOに加盟</li> <li>◇ロシアのエリツィン大統領辞任</li> <li>◇中国にマカオ返還</li> </ul>
<b>平成 12 年</b> (2000 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「EIAJ版Web-EDI導入の手引き (入門編)」 発行 [5 月] インターネットを利用してEDI取引を実施する際の留意点を取りまとめた導入ガイド</li> <li>● 「EDI取引導入ガイド」 発行 [5 月]</li> <li>● 「EIAJ-EDI Standard 1999」 発行 [10 月] 海外への紹介を主たる狙いとし、「EIAJ-EDI 標準 1999 年版 (赤本) 英訳版」として発行</li> <li>● (社)日本電子機械工業会 (EIAJ) と (社)日本電子工業振興協会 (JEIDA) の統合に伴い、新団体として、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA) 設立 [11 月 1 日]</li> </ul>	平成 12 年度 会 長 高岡 洋氏 (株)日立製作所 調達戦略室長 副会長 須永俊也氏 アルプス電気(株) <small style="margin-left: 200px;">常務取締役営業本部長</small> 副会長 岩崎隆治氏 (社)日本電子機械工業会 常務理事	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆日本で初めてのG7 (7カ国蔵相・中央銀行総裁会議)開催</li> <li>◆介護保険制度スタート</li> <li>◆森喜朗氏が第85代首相</li> <li>◆二千円札、新五百円玉硬貨を発行</li> <li>◆BSデジタル放送開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇コンピュータ西暦2000年問題 (Y2K)</li> <li>◇ロシア プーチン大統領就任</li> <li>◇シドニーオリンピック開催</li> </ul>

# JEITA ECセンター (EIAJ EDIセンター) のあゆみ

年度	JEITA ECセンターの活動	ECセンター (EDIセンター) 運営体制	日本の動き	世界の動き
<b>平成 13 年</b> (2001 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EDIセンターWG組織の再編・統合 横断的WG：企画WG、標準管理WG、技術WG 業務別WG：製品企画開発業務WG、受発注業務WG、出荷・受入WG、請求支払業務WG</li> <li>● 春季EDIセミナーを東京、大阪それぞれで開催〔5月〕</li> <li>● CEATEC2001〔10月〕 ECALS委員会と合同で、JEITAコラボレイティブEDIに関する展示及びパンフレットの配布。</li> <li>● 「EIAJ-EDI標準 2001年版(赤本)」発行〔12月〕 ・原稿の電子化による再活用 ・体系的整理(解説編、データ交換規約編：基本規則/フォーマット別詳細、運用諸規則編、業務・運用ルール編、資料編)</li> <li>● JEITAコラボレイティブEDI実証実験(フェーズ1)の実施〔12月〕 実証実験参加企業(セット7社、部品6社)により、実証実験タスクフォースを設置し、受注者、発注者、ASP(富士通、日立)間で具体的な実証実験内容、実験環境確認等の調整を行い、フェーズ1の実証実験を推進。</li> <li>● 「請求支払EDI導入ガイド～売掛買掛日々照合実現のため～」発行〔平成14年1月〕</li> <li>● 赤本解説セミナーを東京〔平成14年1月〕、大阪〔平成14年2月〕にてそれぞれで開催。</li> </ul>	平成13年度 会長 片岡政隆氏 アルプス電気(株)代表取締役社長 副会長 川端治夫氏 松下電器産業(株)理事・資材本部長 副会長 佐藤清俊氏 (社)電子情報技術産業協会 常務理事	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ハワイ沖で「えひめ丸」が米原子力潜水艦と衝突し沈没</li> <li>◆ 小泉内閣発足</li> <li>◆ イチロー 米大リーグで新人賞とMVP</li> <li>◆ ノーベル化学賞に野依良治さん</li> <li>◆ 内親王ご誕生 敬宮愛子さまと命名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 米、ジョージ・W・ブッシュが第43代大統領に就任</li> <li>◇ 温暖化防止の京都議定書、米抜きで発効へ</li> <li>◇ 米で同時多発テロ 世界貿易センタービル崩壊</li> </ul>
<b>平成 14 年</b> (2002 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● EDIセンターの将来方向性に関し、中・長期的視点に立った電子商取引のロードマップを策定。 【ロードマップの基本コンセプト】 ・データ交換からビジネスコラボレーション ・商流、物流、金流のシームレスな繋がり ・ビジネスの実体の部分をシナリオ化できるという、JEITAの特長を生かしたビジネスモデル ・国際取引を視野に入れたグローバル標準</li> <li>● 「企業変革をうながすeビジネスセミナー」を砂防会館(東京)にて開催〔6月〕 JEITAロードマップ、JEITAコラボレイティブEDI実証実験(フェーズ1)及び、「仕様書「交換」実証実験(ステップ1)」での検証結果、ロードマップ中間報告等</li> <li>● EDIセンター・ECALS委員会統合化への検討〔7月〕 「EDIセンター・ECALS委員会統合化TF答申案」がJEITA理事会において承認され、「EDI・ECALS統合化準備会」を組織化し、人員、会費、サービス内容、現状からの移行方法を審議し、答申案をまとめる。</li> <li>● 国際協調活動 JEITA/EIAK e-Bizサブコミティへ参画・協議 東京〔7月〕、韓国〔9月〕 交流協会の招聘で日台ebXMLセミナーへ講師として参画〔台湾、7月〕</li> <li>● 「JEITA/JTA業務輸送荷札導入セミナー」((社)全日本トラック協会と合同)九段会館(東京)、桐杏学園(大阪)それぞれで開催〔9月〕</li> </ul>	平成14年度 会長 川端治夫氏 松下電器産業(株) <span style="margin-left: 150px;">理事・資材調達本部長</span> 副会長 大和田武氏 TDK(株) <span style="margin-left: 150px;">上席執行役員SCMグループGM</span> 副会長 戸田宗孝氏 (社)電子情報技術産業協会 常務理事	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 三和銀行と東海銀行が合併、UFJ銀行誕生</li> <li>◆ 第一勧業銀行・富士銀行・日本興業銀行の3行が合併</li> <li>◆ 第17回ワールドカップ 日本・韓国合同開催</li> <li>◆ 「三井住友ファイナンシャルグループ」発足</li> <li>◆ ノーベル化学賞に田中耕一さん</li> <li>◆ ノーベル物理学賞に小柴昌俊さん</li> <li>◆ 住民基本台帳ネットワークスタート</li> <li>◆ 北朝鮮拉致生存者5人が一時帰国 家族と再開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ EU12カ国で「ユーロ」の現金流通始まる</li> <li>◇ 中国、江沢民総書記が引退、胡錦濤・国家副主席を新総書記に選出</li> <li>◇ アフリカ連合発足</li> <li>◇ モスクワで武装勢力が劇場占拠</li> <li>◇ UAL破産申請 米航空最大の破綻</li> <li>◇ 米国とロシア、戦略核兵器削減で合意</li> </ul>

# JEITA ECセンター (EIAJ EDIセンター) のあゆみ

年度	JEITA ECセンターの活動	ECセンター (EDIセンター) 運営体制	日本の動き	世界の動き
<b>平成 14 年</b> (2002 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JEITA コラボレィティブ EDI 実証実験 (フェーズ 2) の実施 [12 月] 実証実験参加企業 (セット 5 社、部品 6 社、ASP 4 社) により、フェーズ 2 実証実験 TF を組成し、受注者、発注者、ASP (富士通、日立、NE ソフト、NTT コミュニケーションズ) 間で具体的な実証実験内容、実験環境確認等の調整を行い、フェーズ 2 の実証実験スケジュールを確定して推進。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・カスタム部品及び汎用品のモデル [平成 15 年 2 月～3 月]</li> <li>・コンサインメント及び納入仕様書 [平成 15 年 3 月～4 月]</li> </ul> </li> <li>● 「JEITA/JTA 業務輸送荷札導入ガイドライン」完成 [平成 15 年 1 月] JEITA の D ラベルとトラック運送事業者の輸送荷札をドッキングして、1 枚で両方の要件を満たす荷札として、JEITA と JTA との合同検討にて仕様等を取り纏め。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 薬害ヤコブ病訴訟 国が和解受け入れ</li> <li>◆ 農水省、諫早湾の水門 解放 5 年ぶり海水導入</li> </ul>	
<b>平成 15 年</b> (2003 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JEITA ECセンター発足 企画部会傘下に 3 委員会、10 専門委員会を設置し活動開始 「ECセンター運営規約」「ECセンター組織に関する細則」を新たに策定</li> <li>● Web-EDI の実施状況調査 [5 月～6 月] ECALGA 標準と既存各社の Web-EDI との整合性の比較のため、セット 14 社に対しアンケート調査を実施。</li> <li>● 韓国電子産業振興会 (EIAK) とのコンテンツ相互交換等の第 1 ステップ (CASE 1) を実用化開始 [6 月]  <ul style="list-style-type: none"> <li>・IEC、ISO 国際会議への参画 (ECALS 辞書)</li> <li>・EDIFICE 会議への参画 (取引辞書)</li> <li>・EIA/IBIS サミットへの参画 (EDA 標準)</li> </ul> </li> <li>● JEITA コラボレィティブ EDI 標準化活動の加速推進 先端インターネット技術 e b XML を利用し、企業間のインタラクティブな協業「コラボレィティブ EDI」標準の制定に向け、開発・実証実験 (フェーズ 2) での分析・評価、取り纏めを行い、標準初版 (Ver2003A-Rev01) として以下の内容を公開 [12 月]  <ul style="list-style-type: none"> <li>【正式版】納入 (購入) 仕様を確定する協業モデル</li> <li>【暫定版】所要計画、予約注文を活用した協業モデル (A モデル) 所要計画を活用した協業モデル (B モデル)</li> </ul> </li> <li>● 日台電子商取引推進委員会にて ECセンター活動、ECALGA 標準を中心に講演 [台北、12 月]</li> <li>● 「企業間コラボレィションを実現する新 EC 基準」セミナー 東京 [平成 15 年 12 月]、大阪 [平成 16 年 1 月] にてそれぞれ開催 ECALGA の概要、ECALGA 標準体系、コラボレィティブ EDI、ベーシック EDI、技術標準、今後のロードマップ等について詳細解説を行うと共にコラボレィティブ EDI 実証実験デモも併せて実施。</li> <li>● 改正下請代金支払遅延等防止法 (平成 16 年 4 月 1 日施行) への対応 「EIAJ-EDI 標準 2001 年版 (赤本)」に対する改訂を小冊子にまとめ、公開。</li> </ul>	<b>平成 15 年度 ECセンター役員</b> 会 長 岩崎二郎氏 TDK (株) 取締役常務執行役 副会長 富田邦夫氏 三菱電機 (株) 役員資材部長 副会長 戸田宗孝氏 (社) 電子情報技術産業協会 常務理事	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 日本郵政公社発足</li> <li>◆ 「六本木ヒルズ」オープン</li> <li>◆ 政府の IT 戦略本部が 「e-JAPAN 戦略 II」決定</li> <li>◆ 9 月、小泉第 2 次内閣発 足</li> <li>◆ 地上波デジタル放送が 東京、大阪、名古屋地 域でスタート</li> <li>◆ ブロードバンドの利用 1000 万件突破</li> <li>◆ 自衛隊の派遣を可能に するイラク復興支援法 案が衆院で可決</li> <li>◆ 民主党が旧自由党と合 併</li> <li>◆ 政府・与党が日本道路 公団の 2005 年度の 3 分 割などの道路四公団の 民営化案を決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 米スペースシャトル 「コロンビア」空中分解 地上への帰還に失敗</li> <li>◇ 韓国、盧武鉉第 16 代大 統領就任</li> <li>◇ 米英軍によるイラク戦 争「イラクの自由作戦」</li> <li>◇ 中国が有人宇宙船「神 船 5 号」打ち上げに成 功。米ソに次ぎ 3 国目</li> <li>◇ イラク北部ティクリ トでフセイン元イラク 大統領が拘束される</li> </ul>

# JEITA ECセンター (EIAJ EDIセンター) のあゆみ

年度	JEITA ECセンターの活動	ECセンター (EDIセンター) 運営体制	日本の動き	世界の動き
<p><b>平成 15 年</b> (2003 年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成 14 年度補正予算として、(財)日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター委託事業 「平成 14 年度市場構造改革に伴う業務・ビジネスシステムの企業間統合基盤整備再委託事業」の 2 件の事業の推進</li> <li>電子機器・部品業界のカスタム部品調達における業務プロセス及び情報モデル調査</li> <li>電子機器・部品業界のエンジニアリングコラボレーションにおける業務プロセス及び情報モデル調査</li> <li>●経済産業省の要請を受け、ECセンターにて業務サイドから商品トレーサビリティの検討開始</li> </ul>			
<p><b>平成 16 年</b> (2004 年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ECALGA 標準規格書コラボレイティブ EDI 編の拡充 Ver2003A-Rev01 の拡充版として、以下の内容で Ver2004A-Rev01 を発行 【Ver2004A-Rev01 の内容】</li> <li>・納入 (購入) 仕様を確定する協業モデルのバージョンアップ タイプ 2 (PDF+XML データ版) の実証実験結果の分析・評価、取り纏めを反映</li> <li>・初版標準規格書 (Ver2003A-Rev01) における暫定版の正規化 所要計画、予約注文を活用した協業モデル 所要計画を活用した協業モデル</li> <li>・コンサインメント協業モデルの追加</li> <li>・倉庫事業者預託 (JEITA-VMI) モデル …… 暫定版</li> <li>●【ECALGA セミナー】東京、大阪にてそれぞれ開催 [11 月]</li> <li>・ ECALGA Ver2004A-Rev01 の解説</li> <li>・ ECALGA 標準の導入ガイド</li> <li>・改正下請法への対応</li> <li>●ECALS 辞書 Ver5.2 を 5 月に、Ver6.1 を 12 月に公開 ECALS 標準及びそれに準拠したカタログ・コンテンツのグローバル展開</li> <li>・韓国電子産業振興会 (EIAK) とのコンテンツ相互交換等の第 2 ステップであるシームレス 相互検索 (CASE 3) の実用化開始 [7 月]</li> <li>・以降はそのベースとなるマッピング辞書の維持拡充、及び両国での実用化促進とアジア他地域 への拡大検討へ向けて引き続き連携を行うこととした。</li> <li>●日台電子商取引推進委員会への参画 [12 月] 交流協会主催の第 4 回日台電子商取引推進委員会共同会議に参画し、日本ー台湾のシームレスな電 子商取引の実現のため意見交換。</li> <li>●日本での第 1 回の IBIS 会議を JEITA にて開催 (IBIS Forum Japan) [平成 17 年 3 月]</li> <li>●経済産業省/電子タグ実証実験事業委託 経済産業省が推進する電子タグ実証実験事業に関し、公募テーマ「環境トレーサビリティ」に応募 し、(財)家電製品協会と共同推進することを条件に受託。 テーマ「電子部品・電子機器における電子タグを活用した環境トレーサビリティ実証実験」</li> </ul>	<p>平成 16 年度</p> <p>会 長 富田 邦夫氏 三菱電機(株) 常務執行役資材部長 副会長 藤田 能孝氏 (株)村田製作所 取締役上席常務執行役員</p> <p>副会長 小笠原一晃氏 (社)電子情報技術産業協会 常務理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆九州新幹線「つばめ」 鹿児島中央ー新八代間 部分開業</li> <li>◆北朝鮮の平壤で金正日 総書記と小泉純一郎首 相が会談、拉致家族の 被害者 5 人が帰国</li> <li>◆道路公団民営化法が成 立、2005 年秋に民営化</li> <li>◆国民が重大な刑事事件 の審理に参加すること を義務付ける裁判員法 が参院本会議で可決、 2009 年からスタート</li> <li>◆マリナーズのイチロー 外野手、シーズン最多 安打記録を塗り替え、 262 安打を達成</li> <li>◆国連総会が安全保障理 事会の非常任理事国改 選、日本が非常任理事 国に。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇NASA 探査車が火星着陸</li> <li>◇9.19 中国共産党の江 沢民氏が完全引退</li> <li>◇アテネオリンピック開 催</li> <li>◇EU に中・東欧など 10 カ 国が加盟、25 カ国体制 始動</li> <li>◇ブッシュ米大統領再選</li> <li>◇アラファト議長がパリ 郊外の病院で死去</li> <li>◇スマトラ沖地震 M9.0 津波による死者 5 万人 以上</li> </ul>





# JEITA ECセンター (EIAJ EDIセンター) のあゆみ

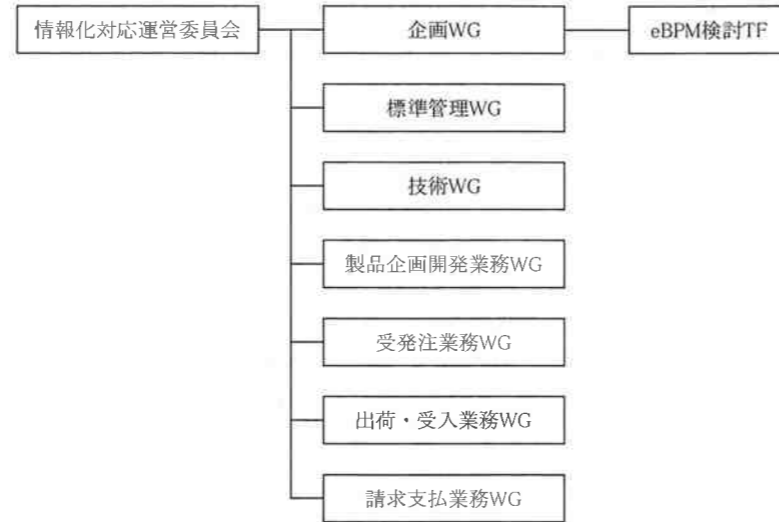
[ECセンター (EDIセンター)]

の委員会組織の変遷]

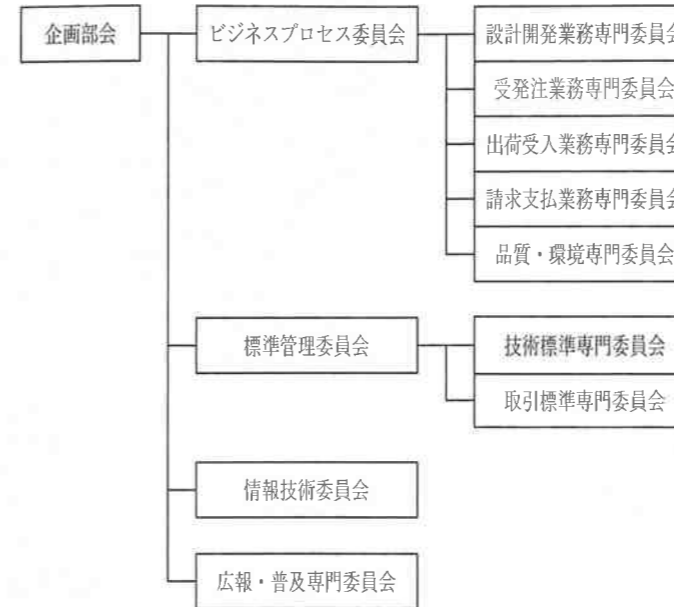
EDIセンター  
平成10年(1998年)8月



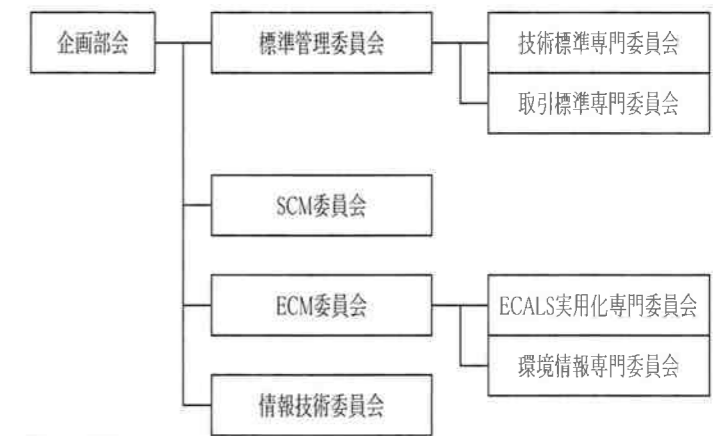
EDIセンター  
平成13年(2001年)6月



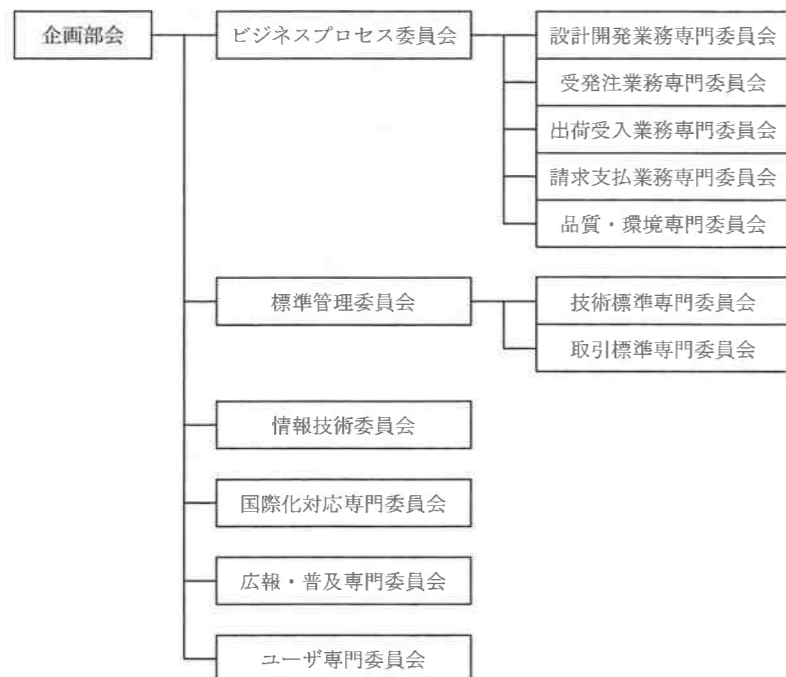
ECセンター  
平成16年(2004年)6月



ECセンター  
平成20年(2008年)6月



ECセンター  
平成15年(2003年)6月



現在頒布中の標準類  
(2008年7月現在)

【JEITA/ECALGA】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● JEITA/ECALGA標準2008年度版               <ul style="list-style-type: none"> <li>分冊1 I. 解説編 II. 技術編 III. 資料編</li> <li>分冊2 IV. ビジネス辞書編 (ECM)</li> <li>分冊3 V. ビジネス辞書編 (SCM)</li> <li>分冊4 VI. 業務モデル (ECM編)</li> <li>分冊5 VII. 業務モデル (SCM編)</li> <li>分冊6 VIII. 企業間プロセス制御型モデル</li> </ul> </li> </ul>	<b>導入ガイド、他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通版</li> <li>・ 技術情報交換モデル編</li> <li>・ 倉庫事業者預託モデル編</li> <li>・ 違算発生防止ガイド</li> <li>・ メールEDI運用標準ガイドライン</li> <li>・ Web-EDIガイドライン</li> </ul>
【EIAJ-EDI標準】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● EIAJ-EDI標準2001年版               <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;日本語&gt;</li> <li>&lt;英語訳&gt;</li> <li>&lt;中国語訳&gt;</li> </ul> </li> <li>● EIAJ-EDI標準1999年版 (抜粋)</li> </ul>	<b>導入ガイド、他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ EDI取引導入ガイド</li> <li>・ 納品書レス導入ガイド</li> <li>・ 請求支払EDI導入ガイド</li> <li>・ 標準納品システム導入ガイド (平成10年4月版)</li> <li>・ EDI取引における関連法規の調査研究</li> </ul>



# ECALGA

## ECALGAとは

### Electronic Commerce Alliance for Global business Activity

JEITA/ECセンターで推進する企業間の全ビジネスプロセスを電子的にシームレスに繋ぎ、相互の経営効率向上を目指す標準化活動、および標準の総称（辞書、プロセス標準、実装標準）をいいます。